



啓発のシンボルとして全国に発信! 2019年「世界ダウン症の日」 日本版ポスターモデル・ 澤田仁美さん

CAFE & GALLERYほっぷで働く澤田仁美さんが、国連が制定した「世界ダウン症の日」の2019年度日本版啓発ポスターモデルに起用され、啓発のシンボルとして日本全国に発信されています!



「世界ダウン症の日」は、国連が世界中の人々にダウン症への理解を深めようと2012年、国際デーとして3月21日に制定。ダウン症の人たちの多くは、21番目の染色体が3本あることからこの日に定められ、日本ダウン症協会が毎年、ダウン症の人をモデルにしたポスターを制作、日本での啓発を行っています。

今年のテーマは「地域で活躍する人」。

今年のテーマは「地域で活躍する人」。仁美さんは、中学生から続けている茶道、地域の憩いの場となっている地域文庫「私の一冊文庫」代表、また赤い羽根共同募金の街頭募金など、長きにわたって地域活動を行っています。



「ほっぷも休まずに、楽しんで仲間と一緒に働いています。お店に行くと、よく仲間たちと笑いあう声が聞こえてきます。」と、母親の博子さん。

特に小学5年生のクラブ活動で出合った茶道は、中学で裏千家に師事して本格的に始め、以降20年間、一度もお稽古を休んだことがありません。

お茶の作法はもちろん、着物の所作を身に付けるのはたやすいものではありませんが、同じことを10回、20回と何回も繰り返し稽古を積んでくれたのは、何より20年間見守ってくださった師匠高島宗美(そうみ)先生ご理解あってこそその賜物です。その甲斐あって13年前に「宗仁(そうじん)」のお茶名、また8年前には準教授の資格を取得されました。

今年度、仁美さんやご家族の生き方に勇気づけられる人の輪が、全国に広がっていくのです。一人では困難なことでも、周りの支えによって可能性は広がるのだとポスターは教えてくれています。この一枚にたくさんのメッセージがこもっているポスター。ぜひ、ご理解を深めていただければと思います。

「仁美さんは名張市の誇りです。」

さて今回は、モデル公募を知った母親の博子さんが「ダウン症でも、このように活躍する娘のことを、広く全国の皆さんに知ってほしい。」と応募したところ、茶道での実績などが高く評価されて選ばれました。

亀井利克名張市長を表敬訪問した際には、「仁美さんは名張市の誇りです。」と、お祝いの言葉をいただきました。

また南宗寺の献茶会に招かれ、裏千家千宗室お家元とご同席させていただき夢のようなひと時も過ごされました。



千利休ゆかりの南宗寺でお家元と記念撮影。裏千家の会員誌、「淡交タイムズ」の記事にもなりました。

「これまで、人のつながりで活動が広がっていききました。地域の皆さんによる、支えがあったおかげです。とても感謝しています。」と父親の福男さん。また、博子さんは「人の役に立つということで、親子ともども気持ちに張りが出ました。感謝とともに、継続は力なりと、皆さんにお伝えしたいです。」と語る。

ポスターのメッセージには、ずっと仁美さんに寄り添ってこられたご家族の、思いもこもっているようですね。

このポスターで、仁美さんやご家族の生き方に勇気づけられる人の輪が、全国に広がっていくのです。一人では困難なことでも、周りの支えによって可能性は広がるのだとポスターは教えてくれています。この一枚にたくさんのメッセージがこもっているポスター。ぜひ、ご理解を深めていただければと思います。

●世界ダウン症の日
2019公式サイト



名張育成会の活動、ひとつずつ!

各施設の様子をお伝えする「MiRAiレポートブログ」から
選り抜きの話題をご紹介します。

はてなブログ MiRAiレポート 検索

伊賀圏域障がい者就業・生活支援センター ジョブサポートハオ

女子会開催!

この春に、「同世代の女性同士で交流する機会がほしい!」というハオ登録者や、他登録者のご希望で、伊賀市のイタリアレストラン「チッタ」で在職者交流会という女子会を開催しました。

今回は、休日の午後にゆったりとしたひと時をと、ランチを楽しみながら語り合うことに!見た目にもきれいな前菜やメイン料理など、素敵なお料理を前に話も弾み、「今年はこのメンバーでお肉を食べに行きたい!」「一緒にお買い物したい!」と和やかな空気感の中、皆さん意気投合し互いに親交をもっていただけようでした。参加者のみなさん、ありがとうございました。



の一まらいふ暖

新年度のスタートです

新しい元号【令和】がスタートしましたね。
そして、の一まらいふ暖も4月から心機一転スタート!

育児休暇から戻ってきたSさん、おかえりなさい☆待ってましたよ〜、笑顔がステキ(●>U<●)。
そしてもう一人!ワークプレイス菜から異動した、現場経験豊富なNさん、さわやか〜(´∀`*)

二人が加わり、「暖」のパワーアップは間違いなし!職員一同今まで以上に力を合わせ、相談支援の役割が果たせるよう業務に取り組んでまいります。今年度もよろしくお願い致します。

特別養護老人ホームグランツァ

平成から令和へ

元号をまたいだ10連休、グランツァでは入居者のご家族がたくさん来所され、それぞれ会話を楽しまれたり、お孫さんの成長ぶりに目を細められたりと、いつも以上に賑やかでした。

また各ユニットでは「令和」にまつわる話題で盛り上がり、中には自慢の筆をしたためた方も!さて、グランツァには大正生まれの入居者もおられます。大正から令和と歩んでこられた方々の人生に思いを馳せ、熱い思いでいっぱいになったGWでした。



虹の会では随時**会員募集**しています。
支援を通じた**仲間作り**
一緒に活動しませんか!
名張育成会後援会・虹の会
0595-65-0271

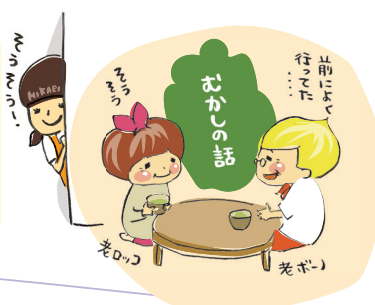
知っておくと安心「認知症」～介護支援専門員のお役立ち情報～

「認知症」とは、いろいろな原因で脳の細胞に障害が起こり、日常生活に支障が出る状態のことです。

ご家庭で重要なのは、**完璧な介護よりも穏やかな人間関係**です。まず認知症という病気を理解して接し、本人との信頼関係を築くことが大切です。

またご本人と様々なレクリエーションや家事を一緒に行い、脳に刺激を与えて生活能力を高めたり、昔好きだった事、得意だった事などを楽しむことで、本人の自信や自己肯定的な感情が得られ、精神的な安定を図ることができます。

- ・認知リハビリテーション→塗り絵、音読、ゲームなど
- ・運動療法→体操や散歩をする
- ・音楽療法→歌ったり演奏を聴く
- ・園芸療法→花や野菜などの世話をする
- ・回想法→過去の思い出を語り、記憶を刺激する



ひかりでは毎日30分ほど、いろはカルタなどを楽しんだり、掃除や食後の後片付けなどの家事を一緒に行ったりして、認知症の進行を穏やかにするように努めています。

「高齢者グループホームひかり」は地域密着型の施設として、認知症相談の窓口ともなっていますので、お気軽にご相談ください。

連絡先:hikari@n-ikuseien.jp
0595-65-6766木平(きのひら)宛

